

令和 3 年 9 月

川崎誠 学位論文審査要旨

主 査 岡 田 太
副主査 梅 北 善 久
同 小 谷 勇

主論文

Cytoplasmic-only expression of maspin predicts poor prognosis in patients with oral squamous cell carcinoma

(マスピンの細胞質のみの発現は口腔扁平上皮癌患者の予後不良を予測する)

(著者：川崎 誠、坂部友彦、小谷 勇、梅北善久)

令和3年 Anticancer Research 掲載予定

参考論文

1. Clinical features of oral multiple primary carcinomas compared with oral single primary carcinoma

(口腔単発癌と比較した口腔多発癌の臨床的特徴)

(著者：川崎 誠、田村隆行、原田勇聖、藤井信行、土井理恵子、小谷 勇)

令和2年 Yonago Acta Medica 63巻 246頁～254頁

審査結果の要旨

本研究は口腔扁平上皮癌患者においてマスピン[®]の細胞内局在と予後との関連について、また口腔扁平上皮癌細胞株を用いてマスピン[®]の細胞内局在と浸潤能の関連について研究を行ったものである。その結果、口腔扁平上皮癌患者において細胞質のみのマスピン[®]発現を認めた群が、有意に高い再発率と短い無病生存期間を示し、多変量解析では無病生存期間における独立した予後不良因子であることを示した。また核と細胞質共にマスピン[®]発現の見られる口腔扁平上皮癌細胞株HSC4では、siRNAを使用したノックダウン実験によって浸潤能が上昇した。この結果は、核に発現しているマスピン[®]が腫瘍抑制に働いていた可能性を示している。

本論文の内容は、口腔外科学および病理学の分野で、マスピン[®]の予後予測マーカーの有用性を示しており、明らかに学術水準を高めたものと認める。